

リートたち

2020年、世界のアスリートが集まる東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとともに、7月4日には我孫子に聖火リレーが通ります。今回は、世界を舞台に活躍する我孫子のトップアスリートの素顔に迫りました。

ほしのじゅんいちろう 市長



座談会の様子

プロフィール

後藤輝也選手 1991年12月18日生まれ。山梨学院大学卒業。NECグリーンロケッツ所属。大学のラグビー部では主将を務め、11年ぶりとなる関東大学ラグビーリーグ戦グループ1部昇格に貢献。2016年リオデジャネイロオリンピック7人制ラグビー日本代表として出場。現在、日本代表セブンス候補。身長177cm・体重82kg。ニックネームはテリー。

船水梓緒里選手 2000年11月8日生まれ。根戸小・久寺家中学校卒業。筑波大学1年、三菱商事(株)所属。中学1年の時に事故で脊椎損傷、車いす生活となる。麗澤高校入学後に本格的に車いすテニスを始め、わずか4カ月でジュニア大会優勝。2018年には世界ジュニアマスターズに日本人で唯一出場し、ダブルス優勝、シングルス準優勝を飾る。

世界を舞台に活躍

市長 我孫子の若者たちが、駅伝やサッカー、レスリングなどの競技で活躍しています。昨年、お二人はいかがでしたか。

後藤 日本代表セブンス(7人制ラグビー)の強化選手に選ばれ国内合宿や海外遠征に参加しました。11月のフィジー遠征では、ニュージーランドなど15カ国が参加するオセアニアセブンスという大会で、**サモアに勝ち3位**になることができました。ワールドシリーズにも参加し、ドバイや南アフリカなどを転戦しました。**船水** パラリンピックに出場するため、**年間20を超え**る大会に出場しました。ほとんどが海外での生活で、ストレスがかかることも多かったです。ライバルとの精神的な戦いや今までにない緊張感、**実力が発揮できなかった悔しさや、やっと勝った嬉しい気持ち**など、今まで以上に苦しい年を過ごした実感があります。

出会い

後藤 中学校は卓球部だったんです。部活動引退後、ラグビーを教えた人がいたので、「ラグビーを教えて」と頼み、遊びで始めました。その後、大会に出場したりして面白くなり、**高校から本格的に始めました**。

市長 高校からなんです。後藤 中学生の頃は、足も遅く体も小さかったんです。**船水** 私は中学1年生の時にけがをして車いす生活になり、もうスポーツはできないと思います、家にいること

初めての世界の舞台

後藤 リオオリンピックの時は、あまり期待されず、ランキングも低く、正直勝つのは難しいと思っていたので、**自由にのびのびできる感じで、気負いもせず楽しめました**。

市長 子どもたちは「一生懸命やっているけれどレギュラーに選ばれない」「スランプを感じている」といったときの**克服方法**に関心が高いようですが、お二人はどのように克服していますか。



フィジー遠征の様子 一番右が後藤選手(日本ラグビーフットボール協会提供)

後藤 家にいることが多いのですが、地元の居酒屋に行ってお酒を飲んだり、食べたりしています。おすすめメニューを全て頼むんです。

スランプからの脱出

市長 以前はルーティンがありました。でも型にはまらなくなったので今はないです。リンカーンの「**意志あるところに道は開ける**」という言葉が好きです。負け試合が続くと意志がフラ

後藤 まだ1度も出場したことがないので、憧れの舞台です。これまで目指してきた場所でもあるので、ぜひ出場したいです。出場することで、**サポートしてくださった方々への恩返し**になつたらいいなと思います。

オフの過ごし方

後藤 家にいることが多いのですが、地元の居酒屋に行ってお酒を飲んだり、食べたりしています。おすすめメニューを全て頼むんです。

後藤 4年に1度しかないのですが、ラグビー人生で2・3回しかチャンスがない。少ないチャンス、それも世界中のお祭りであるオリンピックの舞台に立てることは光栄で、出場したい気持ちがあつてあります。



NECグリーンロケッツ チームマスコットのマルス君が登場!

市長 やはり日本代表として試合に出場することは、大きなプレッシャーがかかりますか。

後藤 監督から見える所や、早朝・休日に練習してアピールする人はいますね。試合中1回でも良いプレーを見せ、監督に「あいつはいいよ」と思われることも大切かもしれないです。

市長 海外遠征中は、部屋にいます。オフではないのですが、フィジー遠征では楽しく練習することでストレスを発散しました。

オリンピック・パラリンピックへの思い

市長 我孫子の子どもたちには何が残したいという思いから聖火リレーの誘致を考えました。昨年、ルートが発表された時は嬉しかったですね。7月4日は、子どもたちの記憶に残る聖火リレーになるよう、市民の皆さんと盛り上げていきたいと思っています。